

ツバケリ、是所謂和田宿也。○中略慶長三年戊戌、中山道ヲ開カレシニ及テ、和田ハ緊要ノ地ナレバトテ、直政伊井ニ仰セ、城ヲ築シメテコレヲ賜フ、此時直政地名ヲ更テ松ガ崎ト云シト、龍廣寺ノ住持ノ白庵ニ語ラレシニ、白庵曰、尤然ルベク、去ナガラ諸木ニ榮枯ノ時アリ、物ニ疆ノアルコトハメヅラシカラズ候、公既ニ命ヲ奉テ此城ヲ築キ玉ヘルハ、所謂盛事大名也、サレバ成功高大ノ義ニ取テ、高崎トシ玉ハレバイカバト云ケレバ、直政大ニ悦テ高崎ト名ヅケラレ、且高崎ノ二字ヲ以龍廣寺ノ山號トスベキヨシヲ命ゼラル、

〔木曾路名所圖會四〕高崎上野 倉加野まで一里十九町、此所は松平右京亮侯居城の地也、城下の町長し、凡三十町ばかり繁昌の地也、此國都會の地にして、月毎に六度の市あり、第一に上州絹館煙草、白目竹とて、馬の鞭に用、其外種々の物を出して交易す、賑ひいはんかたなし、これより少し行て佐野むらにいたる、

〔上野國志信邑樂郡〕館林城。佐貫庄ニアリ。弘治二年正月、赤井但馬守照康入道法蓮ガ築ク所ナリ。○中略御入國ノ後、榊原式部大輔康政ニ賜フス。天正十八年八月、外張ノ町屋今ノ所ニ移ル、文祿二年正月ヨリ郭外ノ總堀ヲ掘ル、

〔古文帖〕植村駿河守藏
大神君

上州館林。大島村五百石、右宛行之證、全可令知行者也、仍如件。
天正十九辛卯年 御朱印

植村新六郎どのへ

〔前橋風土記〕前橋方域

前橋。右曰厩橋。在于上野國群馬郡矣。

〔上野名跡誌二編下〕厩橋